平成 26 年度消防ポンプ自動車（CD-1 型　・４WD・低床式）仕様書

静岡県裾野市

消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型・４ＷＤ・低床式）仕様書

第１　総　則

１　目的

この仕様書は、裾野市消防本部（以下「本部」という。）が平成２６年度に購入する消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ、型以下「車両」という）について、次に掲げるところによるものとする。

（１）　緊急出動、消火作業等消防活動に適した構造及び機能を有しているもの。

（２）　ポンプ車の製作にあたっては、この仕様書に定めるほか、緊急自動車として、道路運送車両法（昭和２６年法律第１８５号)、道路運送車両法保安基準（昭和２６年運輸省令第６７号）等の関係法規及び緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱に記載のある消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）の基準に適合するものでなければならない。

（３）　動力消防ポンプは、規格省令に適合するものであること。

（４）　各装置は、耐久性及び耐食性に優れたものであること。

（５）　各装置の点検整備を容易に行うことができるものであること。

（６）　このポンプ車は、消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ｉ型、オートマチック)専用シャシーを架装して、定員１０名を確保した最新式車両とし、普通運転免許で乗車できる仕様とすること。

２　契約後の提出書類

（１）次に掲げる図書を本部に３部提出し、本部の承認を受けた後に製作を行うこと。

ア　製作工程表

イ　艤装図

ウ　ポンプ関係図（真空ポンプ関係図を含む）

エ　ポンプ及び配管のシャシー取付け要領図

オ　シャシー三面図

カ　シャシー諸元明細書

キ　使用材料明細書
ク　その他本部が指示するもの

（２）進捗状況の報告をすること。
平成 26 年 12 月 31 日現在の進捗状況を示す書類を、翌月 5 日までに提出すること。

（３）緊急自動車届出に伴う、次に掲げる図書を本部に，完成車納入３０日前までに３部提出すること。
ア　改造自動車等審査結果通知書（写し）
イ　完成車両写真（車両を前後左右から撮影したもの）
ウ　緊急自動車届出に伴う図面
エ　譲渡証明書（写し）
オ　契約書（写し）
カ　重量実測証明書

（４）車両納入時において、次に掲げる図書を本部に３部提出すること。
ア　シャシー関係
①　動力取出装置関係図
②　取扱説明書
③　その他本部が指示するもの

イ　艤装関係
①　艤装完成図
②　ポンプ性能試験成績表
③　ポンプ取扱説明書
④　取付品及び積載品の取扱説明書

⑤　改造自動車等審査結果通知書（写し）
⑥　自主表示対象機械器具等表示（写し）
⑦　その他本部が指示するもの

3　疑義の解釈

製作にあたり、本仕様書に変更の必要が生じたときは、直ちに本部と協議し、その指示を受けたあと、速やかに確認図書を提出すること。

4　検　査

（1）検査の種類は、次のとおりとする。

ア　完成検査　車両の艤装が完成し、納車時の検査をいう。
イ　中間検査　艤装の施工過程において請負者からの要請があったとき、または監督員及び検査員が必要と認めたときに行う。
ウ　製造検査　艤装材料の品質及び性能を検査するもので、特に必要のあるときは現品について行う。

（2）検査の方法等

ア　検査はあらかじめ受験申請しなければならない。
イ　検査は、監督員の指示に従って受けること。
ウ　監督員及び検査員は、検査のため必要があると認めるときは、その部分を取り壊し、分解し、又は製作に関する説明を求めることが出来る。

5　新規登録事務等

車両納入前に、緊急自動車届出事務及び車両の登録事務に伴うすべての事務手続きを行い、検査に合格した後車両を納入すること。

６　事故防止

車両の移動にあたっては、事故防止に万全の注意を払い、万一事故が発生した場合には、すみやかに本部に連絡するとともに、その損害については受注者が一切の責任を負うこと。

７　費用負担

（1）　完成車の新規登録及び検査に要する費用、自賠責保険及び自動車重量税及びリサイクル料は本部が負担する。

（2）　下取り車両（自動車登録番号　「沼津 88 す　977」　平成９年１月登録、日野ＫＣ－ＦＤ１ＪＥＢＡ改）に関する費用（抹消登録手続き費用等）は、本部が負担する。

（3）　上記以外その他一切の費用は受注者の負担とすること。

８　保証期間

（1）　車両の保証期間は、納入検収日から１年間とする。

（2）　車両のポンプ関係等のサービス点検は、保証期間中に１回以上（オイル交換を含む）実施すること。

（3）　保証期間後、製作上の不備に起因すると認められる不具合箇所については、無償で改善策を施すこと。

９　納入場所

完成車両の納入場所は、本部とする。

１０　納入期限

完成車両の納入期限は、平成２７年２月２７日とする。

１１　その他

（1）　施工は、本仕様書によるものとし、明記されていない部分は、納入業者が公表した仕様によること。

（2）　納入時の燃料は、車両及び付属機器共にタンク容量を満たしていること。

（3）　本仕様書に定められていない事項でも、受注者が公表している仕様工作上で当然必要なことは、これを実施すること。

第２　仕　様

１　シャシーの条件

消防のシャシーは、特に指示するものを除き、次に掲げる事項を満足すること。

（1）　消防専用シャシーとして認定が取られていること。

（2）　極力軽量化を図り、ポンプ及び機関等の荷重により局部的な変形を生じないこと。

（3）　フレーム、スプリング及び車軸等の機械部分は、火災その他の災害現場での全負荷運転に耐える能力があること。

（4）　シャシーメーカーが平成２６年に公表した仕様によること。

２　シャシー等

シャシー等は、次に掲げる要件を満足すること。

（1）	車体の形状	キャブオーバー型
（2）	エンジン	ディーゼルエンジン
（3）	トランスミッション	オートマチック
（4）	定　員	１０名
（5）	駆　動	4 輪駆動

３　シャシーの型式

車両のシャシーは、平成２６年に製造されたものであること。

４　装備品

本車両には、別表に掲げる装備品及びその他、仕様書内に掲げる装置等を装備すること。

第３　艤　装

１　艤装は、この仕様に適合して作成されるとともに、次の条件を満たし、消防車両として適切な構造及び性能を有するものであること。

（１）　堅牢にして、火災現場等での使用に十分耐え得るものであり、かつ維持管理が経済的に行なえるものであること。

（２）　使用取扱上の安全性、操作性を十分考慮したものであること。

（３）　清掃、点検、調整及び修理が安全かつ容易に行えるものであること。

（４）　扉は開閉が安全かつ容易にできるものであること。

２　車両の主要寸法

（１）　全　　長　　概ね５．７０ｍ

（２）　全　　高　　概ね２．５０ｍ

（３）　全　　幅　　概ね１．９０ｍ

３　使用材料及び部品の規格

（１）　支給品を除き使用材料及び部品は、すべて新規製品を使用すること。

（２）　艤装に使用する材料は、総務省が定める「緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱」の災害対応特殊消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型に準拠し、ネジ類については ISO ネジ、またはこれに準じるものを使用すること。

（３）　プラスチック類は、すべて難燃性の製品を使用すること。

（４）　ゴム製品は、すべて耐油性の合成ゴムを使用すること。
（５）　木材は、十分乾燥したものを使用し、製作後に変形、歪みなどが生じないこと。
（６）　艤装材料のうち、フロアステップ、その他必要とする部分は縞鋼板とすること。なお、サイドステップ、リアステップの端部周辺は、折り曲げ構造とすること。
（７）　必要な箇所には、アルミ製保護板を張ること。

第４　車体の艤装

（１）車体の構造

ア　アルミ縞板（ステンレス板を含む）を取付けるボルト、ナット、ワッシャ類はステンレス製とすること。
イ　アルミ縞板、ステンレス板を直接骨材又は外板等に取付ける場合は、外周からの水の浸入を防ぐため、コーキング加工を施すこと。
ウ　各ボックス等の扉に使用する蝶番は、全てステンレス製とし、取付け用ボルト、ナット類も同様とすること。
エ　各ステップ等の足掛け部、蹴込み部で塗装の剥がれやすい部分にはステンレス板又はアルミピラミッド板を貼り付けること。
オ　側板、各ステップ等の外縁部は、折り曲げ加工を施し、切断部には丸みを付けて点検整備の際危険の無いようにすること。
カ　ステップ床板等で水の滞留する恐れのある箇所には、適当な大きさで水抜き孔を設け、腐食防止対策を施すこと。
キ　乗降時及び走行時において、安全のため必要な握り棒、手摺り及び安全帯を設け、手摺り（シャシー標準装備を除く）はステンレス製とすること。
ク　隊員乗降用のステップを強固に取り付けること。
ケ　後部ステップは、後輪接地面と後部ステップ先端とを結ぶ直線上より下方に突起物がないように設けること。
コ　ボディーの構造は、鋼板で箱型に組み上部周辺は溝型にプレスし、下部内側は山形鋼でボディーを装着し、側板後部縁には手摺りパイプを設ける。
サ　ステップ類は縞鋼板とし、縁は下方に 90 度折り曲げ、強度を有する構造とする。

シ　リヤフェンダーは丸型とし、吸管との接触部には保護板（アルミ板）を張ること。
ス　ボディー内の床は、縞鋼板張りとし、座席部にあってはビニール張りの２人掛けの座席を設け、折りたたみ座席とする。
セ　ボディー上部を布幌とし、枠組みは取り外し式とする。

（２）車体前面
ア　フロントグリル中央に消防団マークを取付けること。
イ　フロント面の左右にＬＥＤ赤色点滅灯各１個を取付けること。
ウ　フロントにフォグランプを一対取付けること。

（３）車体側面
ア　左右リヤフェンダー上部に、できる限り大きな速消ホースボックスを設け、防水性に優れた構造で、走行時振動等で開放しない構造とする。
イ　左リヤフェンダー前方に器具収納ボックスを設け、防水性に優れた構造とする。走行時振動等で開放しない構造とする。
ウ　梯子は車体右側にアルミ二連製４．０ｍ以上のものを取り付ける。
エ　とび口は、車体左側上部に取り付ける。
オ　ホース背負い器を車両左右後部（リヤフェンダー後方）側板に吸管円周内に積載できるようにすること。
カ　吸管スパナは、吸口付近に取り付ける。

（４）車体後部
ア　ボディー内に可搬式ポンプＣ－Ⅰ級を取付け、可搬用吸管をボディー内に収納すること。
イ　発電機及び付属品はボディー内に取付ける。
ウ　スタンドパイプは、ボディー内に取り付ける。
エ　金てこは、ボディー内に取り付ける。

オ　消火栓開閉金具は、ボディー内に取り付ける。
カ　管鎗は、リヤステップ左右に取付け、走行時振動等で、はずれない構造とする。
キ　ストレートノズルは、リヤステップ右側に取り付ける。
ク　車体後部右側下部にステンレスパイプ製のロープ結索部を設けること。
ケ　防火水槽開閉金具は、車体後方に取り付ける。
コ　スコップは、リヤステップ下に取り付ける。
サ　後部マフラーは、保安基準及びシャシー架装上の注意事項を遵守の上で後部延長する。
シ　泥よけは、全輪に取り付ける。
ス　後部に取付けるナンバープレートは埋め込み式とする。
セ　斧・カケヤ取付け装置を設ける。
ソ　付属品、その他露出部の金具はメッキとする。（アルミ及びステンレスを除く）
タ　消火器は、ボディ－内に取付けること。
チ　ポンプ室両側面上部にメッシュ加工し、両側板内に受令器のスピーカーを取り付けること。

（5）キャビン上部、内部

ア　キャビン上部に赤色警光灯を設けること。
イ　キャブルーフのリヤ中央に車載無線機用アンテナを取付け、同軸ケーブルを無線機取付け位置まで余裕を持たせて配線すること。
ウ　キャブルーフにデジタル無線用アンテナ基部を取付け、同軸ケーブルをキャビン内まで余裕を持たせて配線すること。位置については本部と協議すること。
エ　各装置の取付け部から雨水等が浸入しない構造とすること。
オ　地域防災無線機（支給品）をキャビン内に取り付けること。
カ　リヤシート下に物入れ収納ボックスを設けること。
キ　インターホンを取付けること。
ク　バッテリーボックスは、引き出し式にすること。

ケ　Ａ３版地図収納箱をキャビン内に取り付けること。
コ　マップランプを取り付けること。
サ　旧車両から無線傍受器をキャビン内に移設すること。

（６）主ポンプ

ア　主ポンプは２段バランスタービンポンプとし、サイドカバーに設けられた通水路と共に合理的な水速を保持して、性能の飛躍的な向上を図った構造とする。
イ　インペラーは、キャビテイションを防止し、高所よりの吸い上げに対し性能の低下を防止し、高度のバランスを保持する構造とする。
ウ　ポンプシャフトは、ステンレス鋼又はニッケルクローム鋼で、精密な研磨仕上げを施す。
エ　主ポンプは、あらゆる回転状態・吸水・落差・放水量及びポンプ圧力においても振動・発熱・異常音・漏水のない構造とする。
オ　ポンプ性能は、ポンプ規格で定めるＡ２級以上の性能を有するものとする。

（７）真空ポンプ

ア　真空ポンプは、偏芯回転式もしくはピストン式とし、揚水時に水の流入しても故障しない構造とする。
イ　真空ポンプは、環境に配慮した注油装置を必要としない完全オイルレス構造とする。
ウ　動力伝導機構は、自動式とし真空ポンプクラッチは使用容易にして、機能確実かつ調整簡単にし、いかなる使用状況にあっても真空ポンプに致命的な故障の発生しない特殊クラッチとする。
エ　真空ポンプ機能は、付属吸管を連結して 30 秒以内にて－85KPa 以上とする。

（８）動力伝達装置

シャシー固有の純正品とする。

（９）吸吐水口

ア　吸水導管合流部は、内径 100mm 以上とし、車両両側に各１個ずつ 75mm ボールコックを装置し、エゼクターバルブにより連続呼び水放水が可能な構造とする。

イ　吐水管は内径 65mm とし、車両両側に各 2 個ずつボールコックを取り付け、高圧力においても容易に開閉操作が出来るものとする。

ウ　中継用吸口は車体両側とし、65mm ボールコックを装置し、中継用圧力制御バルブを内装すること。

（１０）警音装置

電子サイレンアンプ（警鐘・拡声装置付）は運転室助手席の前部の操作しやすいところに取り付ける。

（１１）照明装置

ア　サーチライトを、ボディー前方左右及び後方左側に伸縮式のものを取り付けること。

イ　照明灯を各計器並びにポンプ、エンジン部に取り付けること。

ウ　赤色点滅灯は、車体前部バンパー・車体後部上部の左右に取り付けること。

エ　路肩灯は、左右リヤフェンダー前下部に取り付けること。

オ　ボディー内側中央に室内灯を 2 個取り付けること。

（１２）計　器

ア　圧力計及び連成計は、吐口コック上部左右両側に取り付ける。

イ　エンジン回転計及びエンジン油温計は、運転席付近に取り付ける。

ウ　ポンプ室両側面にポンプ揚水及び放水状態が一目で確認できるモニター装置を取り付ける。

（１３）塗　装

外部は完全な防錆加工を施し、赤色ウレタンで研出仕上げを行い塗装する。

（１４）文字入れ

ア　ドア両側に、「裾野市消防団東分団平松」と、丸ゴシック体黒影どりにより金色で記入すること。

イ　ルーフ標識灯前面に「平松」と丸ゴシック体により黒色で記入すること。

ウ　車体後部の見やすい所に「平成２６年度東富士演習場周辺消防施設設置助成事業」と記入すること。

①　書　体　　丸ゴシック体

②　書き方　　横書きで記入

平成２６年度東富士演習場周辺

消防施設設置助成事業

③　字　色　　白色

④　大きさ　　二段均等割りで、四角[４００×１００（㎜）]の枠内に納めること。

エ　キャブドア部に、ピンストライプ（唐草マーク付）を施行すること。

オ　文字寸法等細部については、本部と協議すること。

（１５）その他

ア　シャシー主要装備品は、特に指示のある場合を除き平成２６年度にシャシーメーカーが公表した標準装備品が装備されていること。

イ　この仕様書は、概要を示すものであるから本仕様書に記載のない事項にあっても、消防ポンプ自動車としての機能、操作上当然具備しなければならない事項は、これを補足しなければならない。

１４　別表第１　シャシー仕様

№	品　　名	数量	摘　　要
1	消防専用シャシー	１台	CD１低床４WD
2	トランスミッション	１式	オートマチック
3	エアコンディショナ	１式	
4	電動格納式ミラー	１式	助手席側
5	パワーウインドウ	１式	前席
6	電動キャブチルト	１式	
7	ＡＭ／ＦＭラジオ	１台	
8	寒冷地仕様	１式	バッテリー・オルタネーター
9	サイドバイザー	４個	各ドア
10	フロアマット	1 式	
11	タイヤチェーン	1 組	シングル
12	ドライブレコーダー	1 個	車両メーカー純正品若しくは同等品

別表第２　標準艤装及び付属品

№	品　　名	数量	摘　　要
1	ポンプ圧力計	２個	左右各１個
2	ポンプ連成計	２個	左右各１個
3	エンジン回転計	１個	
4	エンジン油温計	１個	
5	赤色警光灯	１式	大型赤色散光式警光灯（パトライト製 AWD－VC 型同等品）
6	電子サイレン	１式	パトライト製　SAP－５２０FC 同等品
7	照明灯	１灯	HCS－S 型 24V－55W 同等品、伸縮ﾎﾟｰﾙ付
8	後退警報ブザー	１式	
9	標識灯	－	大型赤色散光式警光灯一体型
10	吸管	２本	７５㎜×１０m軽量
11	吸口ストレーナー	２個	
12	吸管ストレーナー	２個	
13	吸管ちりよけかご	２個	ポリプロピレン製
14	吸管まくら木	２個	
15	吸管ロープ	２本	１０㎜×１５m
16	消火栓金具	１個	７５㎜メスネジ×６５㎜差込メス
17	中継用媒介金具	２個	６５㎜メスネジ×６５㎜差込メス
18	消火栓開閉金具	１式	T字バール
19	吸管スパナ	２丁	
20	管そう	２本	取付装置設置

21	ノズル	４個	可変噴霧２個、２０㎜・２３㎜各１個
22	放口媒介金具	２個	普通型
23	放口媒介金具	２個	スイベル型
24	とび口	２本	取付装置設置付
25	金てこ	１本	取付装置設置付
26	剣先スコップ	１本	取付装置設置付
27	はしご	１梯	アルミ製二連梯子（４．２m）取付け
28	車輪止	２個	ゴム製
29	消火器	１個	自動車用（ＡＢＣ粉末６kg型）取付装置設置
30	ポンプ工具	１式	
31	ホース	30 本	呼称６５㎜×２０m（白）　SP-H-AA 同等品　アルミ町野式金具

別表第３　特別艤装及び特別付属品

№	品　　名	数量	摘　　要
1	ホース背負器	２式	アルミ製　取付け装置設置、カバー付
2	ボディー全幌屋根	１式	室内灯２灯、幌は国防色
3	速消ホース箱	１式	左右三方ローラー、すのこ付
4	スタンドパイプ	１式	取付け
5	バッテリースイッチ	１個	取付け
6	モーターサイレン	１式	７N 型　キャビン上部
7	サーチライト	２灯	HS‐A 型（24V－70W）　HCS－S 型 24V－55W 型同等品
8	赤色点滅灯	２個	車両前部（パトライト製ＬＰＲ－Ｍ１－Ｒ同等品）
9	赤色点滅灯	２個	車両後部（パトライト製ＬＰＲ－Ｍ１－Ｒ同等品）ガード付き
10	CD プレーヤー	１個	サイレンアンプに接続
11	ホースブリッジ	２組	ゴム製
12	バッテリー引出装置	１式	キャブ下部
13	発動発電機・投光器	１基	ホンダ製 900W、300w型投光器、三脚、コードリール　各取付設置
14	無線傍受器移設	１式	車外スピーカー２個取付け
15	書類収納箱	１個	キャブ隊員席中央（A3 書類）
16	地域防災無線機移設	１式	
17	インターホン	１式	乾電池式
18	後部座席取付け	１式	左右２人掛け用
19	器具収納ボックス	１式	左リヤフェンダー前
20	アルミ縞板取付け	１式	左右リヤフェンダー上部
21	座席下収納箱設置	１式	キャブ後席

22	マップランプ設置	1式	隊長席
23	路肩灯	1式	左右
24	ホースバンテージ	2個	
25	堰シート	1個	裾野市仕様（ｽﾃﾝﾚｽ棒） 取付装置設置
26	計器灯	1式	蛍光灯　左右ポンプ操作盤付近
27	とび口	2本	取付装置設置
28	斧	1本	本体・取付装置設置
29	掛矢	1本	本体・取付装置設置
30	消火栓開閉金具	1基	支給品　取付装置設置
31	車両昇降用足掛け	6個	本部の指定する位置に取付
32	携帯拡声器	1個	
33	後部牽引フック	1式	埋込み型ドア付
34	可搬ポンプ	1式	C―1級可搬ポンプ（セル付）・吸管（ｽﾄﾚｰﾅｰ・塵除け篭） ロープ・バンド2
35	ロープ結索部	1式	ステンレスパイプ製